30 年度

債 務 負 担 行 為 見 積 書

局名　教育局　　所属名　生涯学習課（直通　045-210-8337）　　（単位　千円）

事項	近代美術館特定事業費	

	限度額	前年度末までの支出(見込)額		当該年度以降の支出予定額		左の財源内訳			
						特定財源			一般財源
		期間	金額	期間	金額	国庫支出金	県債	その他	
見積額	18,561,000	平成13年度～平成29年度	6,717,193	平成30年度～平成44年度	11,843,807	－	－	－	11,843,807
査定額	18,561,000	平成13年度～平成29年度	6,717,193	平成30年度～平成44年度	11,843,807	－	－	152,000	11,691,807

事業概要等

1　事業概要

(1) 目的　県立近代美術館は、昭和26年に鶴岡八幡宮に開設され、以来日本の近代美術館の草分けとしてさまざまな実績に対し、国内外で高い評価を受けてきたが、時間の経過とともに鎌倉館及び鎌倉別館は、土地利用上の制約、展示環境の改善、展示・収蔵機能の不足、生涯学習機能の整備などが課題となっていることから、不足する機能は鎌倉と連携可能で良好な自然環境をもつ葉山町に葉山館を整備し、新しい時代に求められる美術館活動を充実させる。

(2) 内容　「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」（PFI法）に基づいて、PFI事業者が新たに葉山館を建設・所有し、併せて葉山館・鎌倉別館を平成45年3月、鎌倉館は平成28年3月まで維持管理し、美術館支援業務を行う。

2　債務負担行為設定理由

県の財政健全化指針を踏まえ、民間資金等を活用する、ＰＦＩ方式で整備するため、債務負担行為を設定。

3　スケジュール

設定期間　32年間（平成13年度から平成44年度）

4　限度額の積算内訳

①	葉山館施設整備費	10,248,599千円
②	葉山館維持管理費	4,099,292千円
③	鎌倉館維持管理費	1,298,709千円
④	美術館支援業務費	789,266千円
⑤	修繕費	2,124,546千円
	計	18,560,412千円

【調整の内容】

財源のみを調整。